

8. 校庭の植物

草本類



ハマユウ（ハマオモト）

三浦市の花

昭和 50 年 6 月 6 日 制定

1)授業の野外観察で、春を探そう。

さあ、いくつの植物を探することができますか？

説明文(植物名)の右端に□があります(P42 ～ P76)。確認のできたものには□に○印をつけましょう。

また、p78 ～ p81 にある三浦市立中学校校内植物調査表の中にもチェックをしましょう。

校内植物調査結果表の中で、○のついていないものは、君達の学校では、まだ見つけられていない植物です。

見つけることができたなら、先生にも報告をして、校内にある植物として認定してもらいましょう。

さらにこの副読本「校庭の植物」に載っていない植物を見つけたら、図書室に行って植物図鑑で調べ、先生に報告しましょう。

これで君も植物博士になれるかもしれません。

この授業を終えたとき、植物と友達になれていればしめたものです。

野外観察では

花の色、花の形、葉の形等を参考にして植物を観察し確認をしよう。

1 アカツメクサ



マメ科

花時期 6～9月

牧草地や空き地や土手や道ばたにはえる多年草。茎は直立して、毛が多い。葉は互生するほぼ球形の花序直下の葉は対生し花序をつつみ、その片方の葉はしばしば1小葉となる。紫色まれに白色の蝶形花をつける。

(近似種:シロツメクサ)

2 アキノエノコログサ



イネ科

花時期 8～11月

各地に普通に見られる1年草。よく似たオオエノコログサはアキノエノコログサの雑種と考えられており、花序に短枝がないことで区別している。

(近似種:エノコログサ、キンエノコロ)



3 アキノノゲシ



キク科

花時期 8～11月

日当たりのよい荒れ地や草地に生える1～2年草。高さ0.6～1mで葉は互生し逆向きの羽状に裂けている。茎の上部の葉は全縁で小さい。茎の上部に直径2cmの頭花を円錐状に多数つける。頭花は淡黄色、まれに白や淡紫色のものもある。昼咲き、夕方しぼむ。

(近似種:レタス、ホソバアキノノゲシ)



6 アレチノギク



キク科

花時期 5～10月

南アメリカ原産の1～2年草。全体的に灰白色の毛が多い。茎は高さ30～50cmで、茎より高く伸びる枝を出す。下部の葉は羽状に裂け、茎葉は線形、ふちはやや波うつ。舌状花は小さくて目立たない。

(近似種:ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギク)

7 アロエ



ユリ科

花時期 1～2月

原産地は南アフリカの乾燥地。花は黄色で葉は40～60cm、幅は先端になるに従って細くなり、縁には鋸歯がある二葉肉は厚くゼリー状で民間薬として「医者いらず」と呼ばれ、やけど、切り傷、胃の薬として用いられている。



8 イガアザミ



キク科

花時期 10～11月

三浦半島・真鶴半島・湯河原町の海岸に多い。株は壮大となり、棘は著しく長く2cm位にまでなる。多数の頭花を密集してつけ、総苞片にいくも毛が密生する特徴もある。

なおアザミ属は交雑しやすく、多数の自然雑種があることが知られている。



10 イタドリ



タデ科

花時期 7～10月

山野に生える高さ 0.5～1.5m の多年草。茎は太く中空で、若いときは紅紫色の斑点が見られる。雌雄異株で花は白～紅色。葉は互生し卵形～広卵形で先は急にとがる。根茎は乾燥して緩下剤、若い茎は酸味があり、生で食べられる。

(近似種:オオイタドリ)

14 イヌムギ



イネ科

花時期 5～11月

牧草として入ってきた。道ばた・空き地などに普通に見られる高さ 1m ほどになる多年草。小穂は著しく扁平で 3～6 個の小花からなる。小穂はそれぞれが散開し垂れ下がって実る。学名の *Bromus catharticus* カタルテイクスとは下剤の意味である。名前に「イヌ」とつく一般に食べられない。



16 イノデ



オシダ科

関東地方から九州の林の中に広く分布する大型のシダで、葉は深緑色で、2回羽状に深裂し、つやがある、葉柄には褐色で長さ 2cm にもなる大きな鱗片が密生する様子を猪の手に見たてて和名がついた。胞子のう群は小さく、小羽片と縁との中間に 1 列に並ぶ。

(近似種:ツヤナシイデ、ジュウモンジシダ)



17 イノモトソウ



イノモトソウ科

関東以西の低地に広く分布。和名の「井の許草」のように人家近くの日陰の石垣の上などにも普通に見られる。胞子葉は長くのび、羽片は幅 5 mm 位と細い。胞子のう群は葉の縁を走る脈の上に長く連なっている。

18 ウシハコベ



ナデシコ科

花時期 4～10月

野原・人家の周り・道ばたなどの湿ったところを好む 2～多年草。茎は紫色を帯び地をはい、枝を多数出す。全縁の葉は対生で、茎の上部は直立して 20～50cm。白い花は、がく片 5 枚・花弁も 5 枚だが、がく片とほぼ同じ長さで 2 裂しており、10 枚の花弁のようにも見える。

(近似種:ミドリハコベ)



20 ウラシマソウ



サトイモ科

花時期 3～5月

花序の付属体が浦島太郎が釣り糸を垂らしている姿に見たてたもの。山野の木陰に生える多年草。地中の球茎は多数の子球をつくるので、かたまって生えることが多い。葉は 11～17 個の小葉からなる鳥足状複葉。葉の陰に紫褐色の仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。雌雄異株。

(近似種:マムシグサ)



21 ウラジロチチコグサ



キク科

花時期 4～10月

道ばたや荒れ地に多く生える。高さ10～30cmの多年草。全体に綿毛が多く特に葉の裏側は白っぽい。頭花は淡褐色で茎の先端と上部の葉腋についている。

(近似種:チチコグサ、チチコグサモドキ)

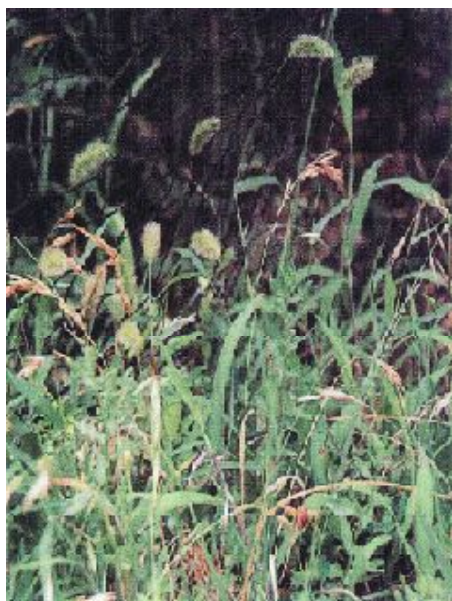
22 エノキグサ



トウダイグサ科

花時期 8～10月

葉がエノキに似ていることから名が付いた。畑や道ばたに生える高さ50cmの1年草。葉は互生し、長楕円形で鈍い鋸歯があり先はとがる。花序は葉腋につき、上部に小さな雄花が穂状につき、基部に編笠状の総苞に抱かれた雌花がつく。



23 エノコログサ(ネコジャラシ)



イネ科

花時期 8～11月

一年草。畑や道ばたにはえる。葉に毛がなく、花の穂は一方にたれる。花を包んでいる包えいは花を完全におおい、中の粒は見えない。名は花の穂がイヌコロ(小犬のしっぽ)に似ているから。

(近似種:ハマエノコロ、キンエノコロ)



24 オオアレチノギク □

キク科

花時期 7～10月

南アメリカ原産の2年草。日本には大正時代に渡来した。茎は高さ1～2mになり、軟毛が多い。茎や葉は灰緑色。茎につく葉は狭披針形で両面に短毛が生える。茎の上部に小さな頭花を円錐状に多数つける。

(近似種:ヒメムカシヨモギ、アレチノギク)

25 オオイヌタデ □

タデ科

花時期 6～11月

道ばたや荒れ地、河原などに生える1年草。茎はよく分枝して高さ0.8～2mになり、節がふくらむ。葉は披針形で先は長くとがる。托葉鞘は筒形で、ふつうふちに毛はない。花序は3～7cmと長くて先は垂れ下がり、淡紅色または白色の花を多数つける。

(近似種:サナエタデ、イヌタデ)



26 オオイヌノフグリ □

ゴマノハナグサ科

花時期 2～5月

越年草。道ばたや畑に群がってはえる。茎はななめに長くのびて、やわらかい毛が多い。葉が大きくて花の柄が長く、花は青色。果実は大きくイヌのいんのう(フグリ)に似ていることから名前が付いた。

(近似種:タチイヌノフグリ)



28 オオジシバリ



キク科

花時期 5～6月

別名ツルニガナ。田のあぜや道ばたなどの日当たりの良い湿った肥沃な場所に生育する多年草。ジシバリより、葉や花が大きく、葉は倒皮針形またはへら状楕円形で、まばらに低い歯牙がある。根もとから細長い枝が出て地をはい、高さ10～30cmの花茎を立て、2.5cm～3cmの黄色い花を1～5個つける。

29 オオバコ

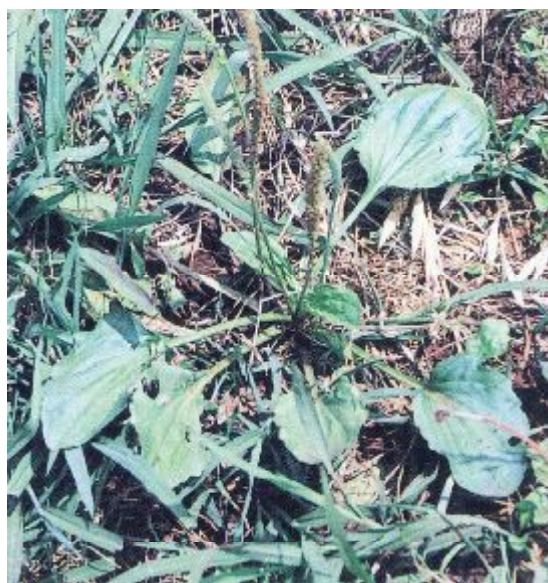


オオバコ科

花時期 4～9月

多年草。葉は根もとにかたまってつき、その間から花の穂がでる。がく、花冠とも四つにさけ、雄しべは4本で花の外にのびる。果実は横にさける。

(近似種: トウオオバコ、ヘラオオバコ)



31 オオマツヨイグサ



アカバナ科

花時期 7～9月

北アメリカ原産の植物をもとに、ヨーロッパで作り出された園芸種が野生化したといわれている。海辺や河原に生える2年草。茎にはかたい毛があり、毛の基部はふくれて暗赤色をおびる。花は黄色で直径6～8cmと大きく夕方から咲き朝になるとしぼむ。

(近似種: メマツヨイグサ、マツヨイグサ)



32 オカタイトゴメ



ベンケイソウ科

花時期 5～7月

小さな厚い葉を大唐米という米にたとえて名がついた。茎は地をはいよく分枝し、枝だは直立または斜上する。花は黄色の5弁花で直径約1cm。花を付けない枝の葉は、赤みをおびることが多い。海岸の岩場に生えていればタイトゴメ、畑の近くならオカタイトゴメ。

(近似種:コモチマンネングサ)

34 オニタビラコ

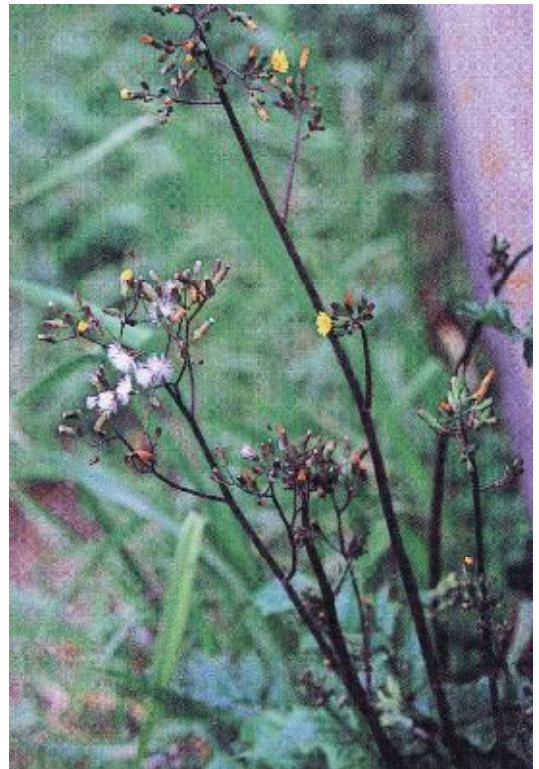


キク科

花時期 3～6月

越年草。畑やあれ地にはえる草。花がタンポポに似ている。茎が上にのびるが、上の方には葉がほとんどない。茎や葉を切ると白い乳液が出る。「オニ」は大きいの意味。

(近似種:コオニタヒラコ=春の七草のホトケノザ)



35 オニノゲシ



キク科

花時期 5～10月

人里近い平地に生える2年草。ハルノノゲシより大型で、葉やとげが強く、葉が茎を抱く基部の両側がとがらないことなどで区別できる。学名の *Sonchus asper* ソンクス アスペルの *asper* は「ざらざらした」の意味。

(近似種:ハルノノゲシ)



36 オニヤブソテツ



オシダ科

ヤブソテツ属の葉は大型で単羽状に分裂するが羽片が幅広く、先端が鎌状に曲がっている。オニヤブソテツは海岸近くに多いシダで、葉は暗緑色で厚く、光沢がある。胞子のう群は羽片の裏面に散生する。美しいシダでしばしば庭に植えられる。

(近似種：ヤブソテツ)

37 オヒシバ



イネ科

花時期 8～10月

道ばた・グランド・空き地などに生える踏みつけに強い高さ 50cm ほどになる丈夫な 1 年草。学名 *Eleusine indica* エレウシーネインディカのインディカとは「インドの」という意味を持つ帰化植物。花序は掌状で 2～7 個。小穂は 5mm ぐらいで枝の片側に 2 列に露出する。

(近似種:メヒシバ)



38 オランダミミナグサ



ナデシコ科

花時期 5～6月

越年草。野原、道ばた、畑にはえている。黄色い軟毛と腺毛がある。根の近くの葉はへら形、上のほうの葉は卵形で丸みがある。花の柄はがく片と同じかそれより短い。ミミナグサに似ている帰化植物の意味。葉は対生につく。



40 カタバミ



カタバミ科

花時期 5～9月

道ばたや庭の多い宿根草。茎は地上をはい、節から根をおろす。実は熟すと種をはき飛ばす葉は光が強いときは開き、弱くなると閉じる。葉を取り、もんで10円玉等にこすりつけるとお金がきれいになる。

42 ガマ



ガマ科

花時期 6～8月

池や沼、川のふちに群生する高さ1.5～2mの大型の多年草。葉は線形で無毛、基部は鞘状で茎を抱く。茎の先に円柱形の花穂をつける。下部は雌花穂ですぐ上に、黄色い花粉のついた雄花穂が接してつく。ガマの花粉は昔から止血剤に使われていた。

(近似種：コガマ、ヒメガマ))



44 カヤツリグサ



カヤツリグサ科

花時期 8～10月

田園地帯ならどこでも見られる雑草の一種。カヤツリグサ科は茎が中実で3稜形(△)になっている。茎の高さは20～50cm。葉のような包は2～3枚つき、小さな花の集まりは球形をしている。茎の両端をつまんで裂くと、まんなか四角形ができる。この形を蚊帳(カヤ)に見立てたもの。



45 カラスノエンドウ



マメ科

花時期 4～5月

越年草。野原にはえる。茎は四角でつるになり、まきひげで他のものにまきついてのびる。複葉の柄のもとには托葉があり、よく見ると黒い点が1個ある。果実は熟すと黒くなり、一つの実に種が10個位つく。カラスはスズメより大きい意味。別名：ヤハズノエンドウ
(近似種:スズメノエンドウ)

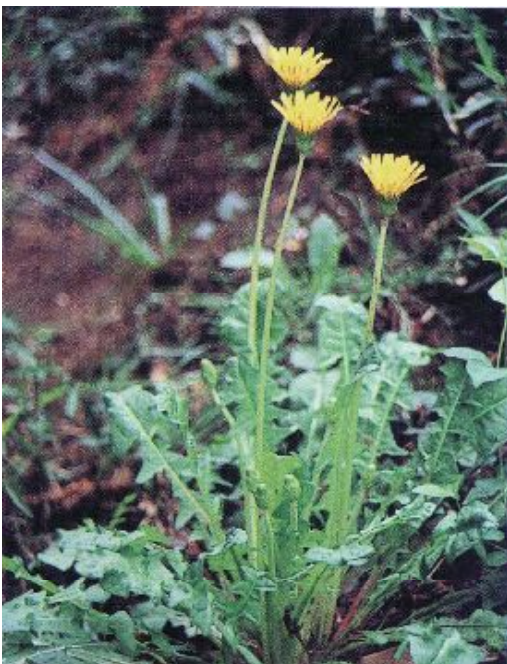
46 カラスムギ



イネ科

花時期 5～7月

ヨーロッパ、西アジア原産の1～2年草。畑や道ばた、荒れ地によく生えている。高さは1mほどになる。花序は長さ15～30cmのまばらな円錐状で、淡緑色の小穂が多数垂れ下がる。麦と一緒に古い時代に日本に入ったと考えられる。
(近似種:マカラスムギ)



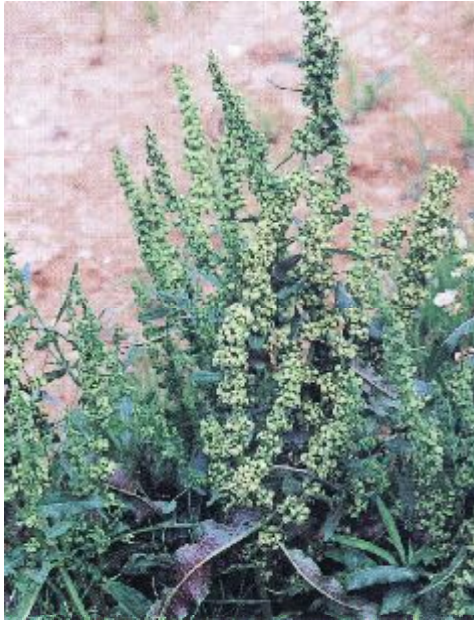
48 カトウタンポポ



キク科

花時期 3～7月

多年草。外側の総包片の先にはこぶがあり、そり返らない。関東に多いが、都会地には少ない。若い葉はおひたしやテンプラ、根は胃薬。
(近似種:セイヨウタンポポ)



50 ギシギシ



タデ科

花時期 6～8月

水田のあぜ道・道ばた・荒地などに生える明るい緑色の多年草で、日当たりと多少湿地を好む。茎は直立して、高さ40～100cm。根生葉は長い柄があり、長楕円形で無毛。葉の縁はわずかに波打つ。茎の先に総状に淡緑色の小さな花をつける。若芽が丸く巻きぬめりがある頃、あえものや汁の具で食べられる。

52 キュウリグサ

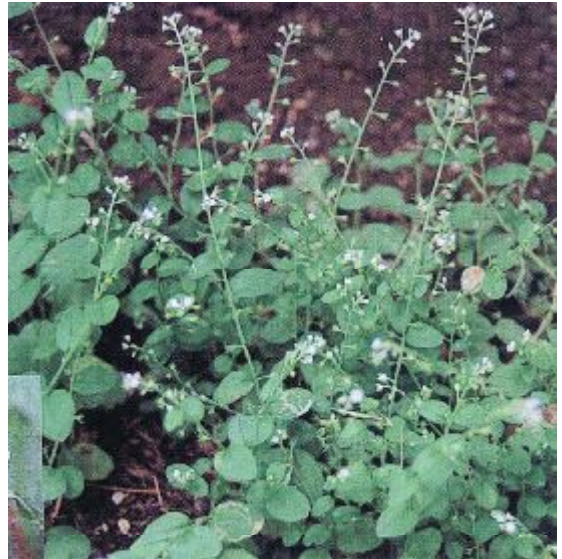


ムラサキ科

花時期 4～5月

越年草。畑や道ばたにはえる。茎はねもとで枝分かかれし、根もとの葉は、かたまってつき長い柄がある。枝だはのびて花の穂になり、先の方はサソリの尾のように丸まってつぼみをつけているが、花がさくにつれてまっすぐになる。もむとキュウリのにおいがする。

(近似種:ワスレナグサ、ハナイバナ)



53 キランソウ



シソ科

花時期 3～5月

別名ジゴクノカマノフタ。日当たりの良い原野や、山地丘陵の道だちに普通にある多年草。茎は四角形で、茎も枝もべったり地をはい立ち上がらない。茎葉に毛が多く、葉は対生し、縁に大きな波状の鋸歯があり、裏面はしばしば紫色を帯びる。花は濃紫色の唇形花で、葉腋に輪生状につく。咳・下痢止めなどの薬草。



59 コセンダングサ



キク科

花時期 9～11月

世界の熱帯～暖帯に広く分布。日本では関東以西の荒地や河原に群生している。茎の高さは1mほどで茎や葉には毛が密生している。黄色い花は花びらがなかったため、つぼみのように見える。果実(そう果)は線形で先端に下向きの刺のある冠毛が3～4個あり、動物の体や衣服について運ばれる植物の代表である。

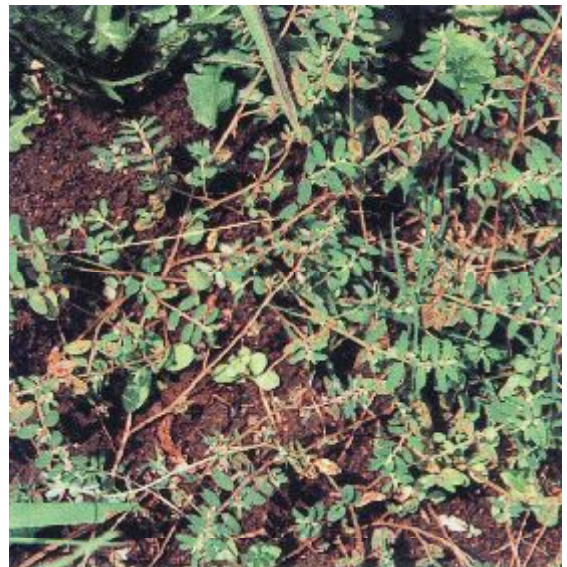
60 コニシキソウ



トウダイグサ科

花時期 7～11月

一年草。畑や道ばたにはえる。ニシキソウに似ているが、茎や葉に毛があり葉はややむらさきがかって中央に黒むらさき色の斑紋があること、果実にも毛がある、などの違いがある。



61 コハコベ



ナデシコ科

花時期 3～9月

ハコベによく似ているが、全体にやや小型で、茎が暗紫色を帯びる。葉は対生し、白いかわいらしい花を咲かせる。花弁は基部近くまで2裂しているので10枚の花びらのように見える。また、花弁ガク片より短い。小鳥の餌としてもおなじみ。食べられる。

(近似種:ミドリハコベ・ウシハコベ)



64 コマツヨイグサ □

アカバナ科

花時期 5～10月

北アメリカ原産の2年草。関東地方以西の海岸・河原・空き地に生える。茎にはやわらかい毛が多く根もとからよく枝分かれして地をはう。上部は斜上して高さ20～60cm。

花は淡黄色で直径1.5cmと小さい。

(近似種:マツヨイグサ、アレチマツヨイグサ)

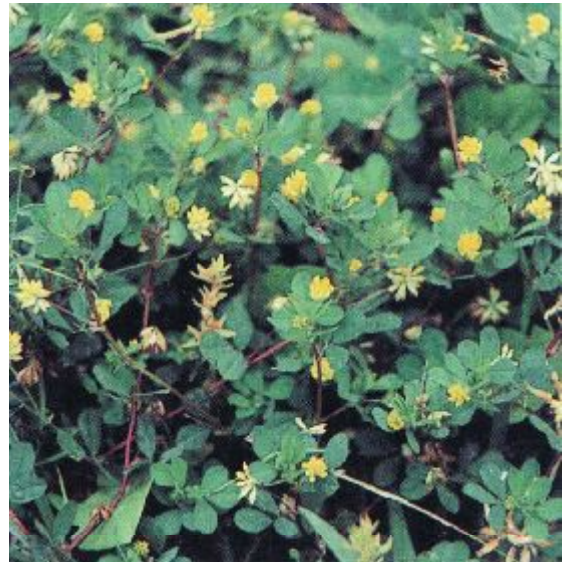
65 コメツブツメクサ □

マメ科

花時期 5～7月

別名キバナツメクサ。ヨーロッパ～西アジア原産の1年草。道ばたや河原などによく群生する。茎はよく分枝し、高さは20～40cmになる。葉は3枚の小葉からなりほとんどが無毛である。花はわずか3mmほどのかわいらしい黄色の花が5～20個が球状に集まる。

(近似種:シロツメクサ、ウマゴヤシ)



66 サンカクイ □

カヤツリグサ科

花時期 7～10月

茎の断面が三角形なのでつけられた。別名のサギノシリサシは直立した苞の先がとがっていることによる。池や沼、川岸などに生える多年草で高さ0.5～1.2m。茎は直立し断面は三角形で先端に小穂が2～3個つく。

(近似種:フトイ)



67 ジシバリ



キク科

花時期 4～7月

名の由来は、細長い茎が地面をはい、所々で根を下ろしてふえ、まるで地面を縛るように見えることによる。茎ははうように四方に広がり、茎から出る白い液が苦い。黄色いかれんな花を咲かせる。岩の上でも少しの土があると生えるので岩苦菜(イワニガナ)の別名もある。

68 シマスズメノヒエ



イネ科

花時期 8～10月

北アメリカ原産の高さ40～80cmの多年草。太平洋側の暖地に多い。スズメノヒエとは葉鞘の先端を除いては無毛であること。小穂は先がとがり、ふちに毛があることで区別できる。

(近似種:スズメノヒエ)



70 ジュズダマ



イネ科

花時期 9～10月

名前の由来は、果実を包んでいる固い苞鞘をつないで数珠にしたことによる。熱帯アジア原産の多年草。水辺に多く群生し、高さ1～2mになる。茎の上部の葉鞘から花序の枝を数個出し、先端に壺形の苞鞘をつける。苞鞘は果期には固くなり、黒褐色から灰白色になる。

(近似種:ハトムギ)



71 シロザ



アカザ科

花時期 9～10月

畑や道ばた、荒れ地などに生える1年草。茎の
高さ 60cm から 150cm くらいで、若芽や葉の裏に
白いつぶつぶがある。小さい花は穂になってた
くさんつき、花弁はない。葉の形は三角をして
いる。若葉は食べられる。

(近似種:アカザ)

72 シロツメクサ

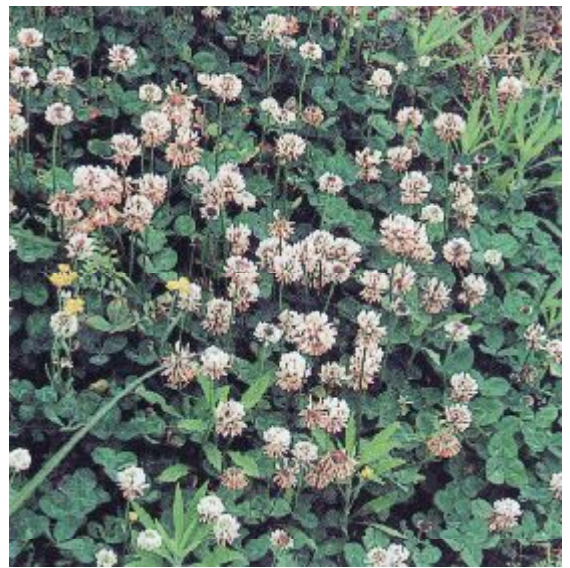


マメ科

花時期 4～7月

別名クローバー。江戸時代、箱荷のガラスを割
らないようにこの干し草を詰めて運んだ後牧草
として広がった。茎は地上を長くはい、節から
根を出し、15cm ほどの葉柄の先に倒卵形の小葉
を3枚つける。さらに葉柄より長い花柄を伸ば
し、多数の白い蝶形花を球状につける、食べ方
は、油いため・酢の物など。

(近似種:アカツメクサ)



73 シロバナサクラタデ



タデ科

花時期 8～10月

湿地に生える高さ 0.5～1m の多年草。地下茎が
あり、雌雄異株でサクラタデによく似ているが、
花の色が白色で長さ 3～4mm とやや小さい。

(近似種:サクラタデ)



74 スイバ(スカンポ)

タデ科

花時期 5～6月

多年草。野原に生える草。茎は赤紫色になるものが多く、花はレンガ色である。根もとの葉には長い柄があるが、茎の上方につく葉はそのもとが二つに分かれて茎をはさんでいる。果実は山稜形で3枚のがく片に包まれている。名は葉がすっぱいから。若芽を生そのまま食べる。

(近似種：ギンギシ)

75 スギナ(ツクシ)

トクサ科

ツクシは3～4月

宿根草。節の所をぬいて、また、さしこみ、どこをぬいたかあてっこしたりして遊べる。つくしはおひたしなどにして食べられる。



76 ススキ



イネ科

花時期 8～10月

秋の七草の1つで「オバナ」とも言われて親しまれている。(ススキ=すくすく育つ。オバナ=動物の尾に似た花)山野のいたる所に大きな株をつくって生えている。ススキの仲間をカヤと言うが、葉を刈って屋根を葺いたので「刈尾根」がなまったと言われている。

(近似種:ハチジョウススキ、オギ)



77 スズメノカタビラ □

イネ科

花時期 3～11月

人家周辺や畑、道ばたなど、いたるところにふつうに生える高さ 10～30cm の 1～2 年草。冬の頃から花をつける。茎も葉もやわらかで毛はない。穂は小さく、スズメの着るかたびら(着物の一種)にたとえた。

78 スズメノテッポウ □

イネ科

花時期 4～6月

耕作地、草地、道ばたに群生する 1～2 年草。稈は基部が曲がり、高さ 20～40cm。薄く白色の葉の幅は、1.5～4mm。全縁である。花序は密集した円錐花序で、3～8cm のものが直立する。草笛として遊べる。



80 スベリヒユ □

スベリヒユ科

花時期 7～9月

畑・道ばた・庭などの日当たりの良い開けた暖かい土地を好む 1 年草。紅褐色の茎は地をはい枝をよく出し多肉質の円柱形で毛はない。葉は楕円形で先が丸く互生か対生し、多肉質で両面に光沢がある。枝先の葉は輪生状に集まっており、その中央部に黄色い花を 3～5 個つける。花は午後には閉じてしまう。



81 セイタカアワダチソウ □

キク科

花時期 10～11月

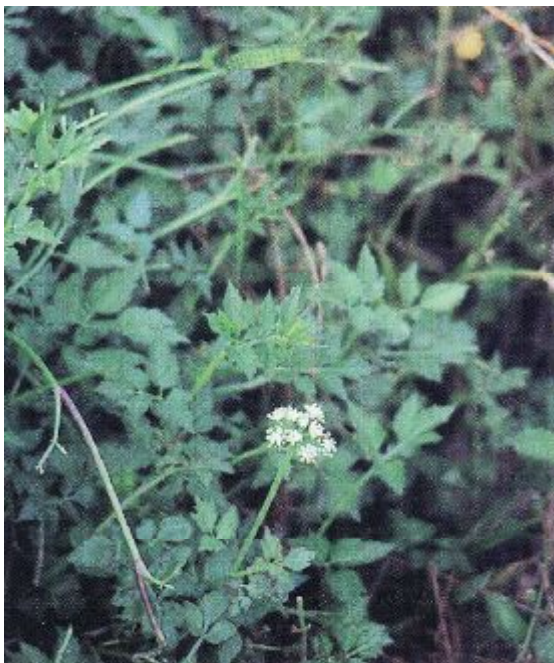
北アメリカ原産の多年草。観賞用に栽培されていたものが野生化して戦後急速に全国に広がった。10月になると一斉に荒地に黄色く泡立つように花を咲かせる。花粉症の元凶と騒がれたが、虫媒花であり関係ない。

82 セイヨウタンポポ □

キク科

花時期 3～7月

多年草。花を包んでいるところ(総包片)が強く反り返り、その先にこぶはない。都会地で見られるものはほとんどがこれ。夏や秋にも咲くことがある。若い葉はおひたし等、根は胃薬。(近似種：カントウタンポポ)



84 セリ □

セリ科

花時期 7～8月

春の七草のひとつ。水田や溝、小川、湿地などに生える高さ 20～50cm の多年草。群生する状態が競り(せり)あって生えていることから名がついた。地下茎をのぼし、秋に節から新芽を出してふえる。葉は1～2回3出羽状複葉でやわらかい。

(近似種：ドクゼリ(有毒)、ミツバ)